

農業用ため池（八幡池）において外来種駆除活動を実施しました。

行事内容

平成21年10月25日（日）午後12時30分から八幡池（加茂郡坂祝町深萱）において、外来種駆除活動を実施しました。

八幡池は古くから農業用ため池として利用されてきましたが、最近になって外国の生き物が侵入・定着したため、平成19年11月にため池管理者が外来種駆除活動を行いました。

今回は外来種駆除活動から2年が経過し、現在の状況を把握するため、ため池管理者や地域住民の方々と一緒に生き物調査及び外来種駆除活動を行いました。

主催者

深萱ふるさと保全隊、岐阜県可茂農林事務所

参加者

深萱ふるさと保全隊

学識経験者

坂祝町職員

岐阜県職員

計 約100名

駆除した外来魚

ブラックバス（1匹）、ブルーギル（2匹） 計 3匹

外来魚は捕獲後、近隣の土地に埋めました。

捕獲した在来魚

フナ（約5,000匹）、コイ（約200匹）、ヨシノボリ類（約500匹）

在来魚は仮池へ一時避難及び下流に放流しました。

この池では2年前に外来魚駆除活動を行っています。当時はブラックバス、ブルーギルが大量に生息していましたが、今回はこれらが激減し、フナ、コイ等の在来魚が増えました。

外来魚駆除活動が生態系を守るために大きな効果があることが確認できました。

協賛行事

この活動は、「第30回全国豊かな海づくり大会～ぎふ長良川大会～」の協賛行事及び「COP10（生物多様性条約第10回締約国会議）」のパートナーシップ事業に登録しています。



活動の様子





「生きもの学習会」の様子